



東京都市大学 柏門技術士会
会長 佐藤貢一

技術の伝承

柏門技術士会は今年15周年を迎え、平成30年6月30日(土)に通常総会と15周年記念式典が行われました。通常総会にて柏門技術士会会長に選任され、2期4年会長を勤められた小林洋一様から会長を引継ぎ柏門技術士会の運営を進めることとなりました。これからよろしくお願ひ申し上げます。

15年前、柏門技術士会を創設するにあたり発起人の皆さまの大変な努力により設立されたことを伺っております。五艘先輩、松田先輩を始めとする柏門技術士会発起人の方々が武蔵工業大学卒業生技術士400名余り全員に技術士会発足と入会の連絡を取りました。その際には日本技術士会畠山前専務理事に大変なご尽力を頂きました。その結果、大学の技術士会では蔵前技術士会(東工大)、桜門技術士会(日大)に次ぐ3校目として柏門技術士会は発足いたしました。現在では会員数320名を超え大学関係の技術士会でも大きな組織に成長いたしました。

柏門技術士会活動の代表的なものとして東京都市大学での授業やガイダンスに参加していることがあげられます。JABBE教育の一環として都市工学科では技術者倫理の授業を14年継続して柏門の担当者が実施しています。また、近年では都市工学科(3年生)、機械工学科(1年生)技術士制度の説明を、一般の学生を対象に世田谷・横浜キャンパスにて技術士制度の説明を技術士ガイダンスとして実施しています。都市大生へ専門分野で社会に貢献する第一線のエンジニアとなるよう啓蒙活動を進め、技術士の紹介をしています。現役の学生のうちに技術士第一次試験を取得すると社会人になって技術士第二次試験に合格する道への早道となります。また、技術士第一次試験を取得していると就職活動も大変有利にすすめられます。このような活動を通じて学生に意欲を持たせて技術者にとって最も権威のある国家資格「技術士」を取得していただくよう推進しているものです。

平成25年度技術士第一次試験の都市大現役生合格者は、たった1名でしたが、平成29年度は49名となり大学ランキング5位にステップアップいたしました。この結果は柏門技術士会成果として特筆できることで、都市大生への技術士第一次試験推進活動は小林前会長が積極的に進められてきたもので、これからも継続してより多くの都市大生が技術士第一次試験学生合格するよう活動したいと思っています。

東京都市大学は2019年に創立90周年を迎えます。日本の社会は戦後の荒廃した状況から高度成長期を経て現在までに世界でも有数の工業立国に成長しました。この成長は本学90年の歴史の中で卒業された先輩方が築いてきたものといっても過言ではないと言えます。専門分野で社会に貢献する第一線のエンジニアたる技術者を育成し、技術を伝承していくことが重要です。柏門技術士会も技術の伝承に大いに貢献したいと思っています。